



2026年 8月31日
第28号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申 第5号 「JR東労組横浜地本第31回定期大会」 発言等に基づく申し入れ 8月26日に提出!

JR東労組横浜地本は7月5日、「かながわ労働プラザ」において「第31回定期大会」を開催し、スローガン、運動方針を含め満場一致で確認しました。

大会では多くの代議員から「勇翔2034」に基づいた会社施策と要員不足に起因する悲痛な職場実態に関する発言、組織再編に伴う体制移行時に発生したトラブルにより混乱している職場実態やハラスメント等に関する発言がされました。今年4月1日に改正された人事・賃金制度により、基本給が職務能力給に改められ、定期昇給も能力昇給となり新たに区分が設けられました。区分制度をめぐる自分の評価に対する不透明性や納得感を得られないなどの声や、各種手当の見直しにより賃金が減額となる社員がいるなど、多くの課題があります。また、社員との適切なコミュニケーションを図っていくとしながら、管理者からのハラスメント発言が未だに行われるなど、「グループ全体のガバナンスの改善と強化に向けた有識者委員会報告書」をとりまとめた中での管理者等の不適切発言は看過できない状況となっています。さらに、ワンマン施策が進む中、鉄道の安全性が担保されるのかといった発言や、組合員・社員の本人希望や生活設計を無視した異動の通知、丁寧さに欠ける異動の恣意などが行われている実態が明らかとなりました。

私たちJR東労組横浜地本は大会発言を踏まえ、労使で危機感の一致を図り、今後進められる様々な施策を担う社員が不安を解消し、安全・健康・ゆとりのある職場を実現するため、以下の16項目を申し入れしました。

1. 管理者等によるハラスメント行為が後を絶たないことから「グループ全体のガバナンスの改善と強化に向けた有識者委員会報告書」に基づき、どのような指導・教育しているのか明らかにすること。
2. 管理者等による不当労働行為やハラスメント行為と捉えかねない事象が後を絶たないことから、管理者等に対して指導・教育を徹底すること。
3. 横浜事業本部・川崎事業本部・湘南伊豆事業本部における社友会の位置づけに関して明らかにすること。
4. 「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方」による組織再編と人事・賃金制度改正に伴うシステム不具合について発生している不具合の内容と原因、対策を示すこと。
5. 今年4月1日改正の人事・賃金制度改正により、定期昇給が能力昇給となったが、これによる成果と課題を明らかにすること。また、ボリュームゾーンが区分2の理由を明らかにすること。
6. 今年4月1日改正の人事・賃金制度改正により、定期昇給が能力昇給となったが、発令された区分に納得感を得られない組合員・社員が多数いるため、評価基準を明らかにすること。また、発令された区分に納得がいかない場合はどのようなコミュニケーションを図っていくのか明らかにすること。
7. 今年4月1日改正の人事・賃金制度改正により、各種手当が見直され、組合員・社員の生活設計に大きく影響を及ぼしていることから、住宅等手当（地域額）と業務手当の見直しを行うこと。
8. 発生した事故・事象に対して対策ありきではなく、原因究明を徹底して行うこと。また、教育に関しては事業本部として責任を持って行うこと。
9. 異動や業務内容の変更にあたっては本人希望をしっかりと把握し、キャリアプランの実現に向けて本人に寄り添ったコミュニケーションを行い、本人希望の実現と不安解消に努めること。また、組合員・社員の生活設計なども鑑みて、異動を通知する際は業務内容の変更の通知と同様に前々月の25日前までとすること。
10. 過半数代表者選挙の投票は公平・公正性を保つため、記入台や投票所は管理者が注視しないように指導すること。
11. 横浜線ワンマン運転の成果と課題を明らかにすること。また、提案されている2027年春頃実施予定の京浜東北・根岸線のワンマン運転開始までに全乗務員に対して全線区で習熟運転を行うこと。
12. 保育園入所時の就労実績確認項目が自治体によって異なるため、育児支援休暇は無給休暇ではなく、有給休暇とすること。
13. 神奈川県内に設置されている事業所内保育園は大船駅に近接の「ぼっぼらんど」が南限である。組合員・社員の子育てを支援するため、未就学児・就学児問わず24時間運営の事業所内保育園の拡充を行うこと。具体的には各事業本部内に事業所内保育園を設置すること。
14. 組合員・社員の子育てを支援するため、子ども手当とは別に福利厚生の一環としてベビーシッター等の利用補助制度の新設・拡充を図ること。
15. 相模線E131系において導入された旅客接近検知装置の成果・課題について示すこと。
16. 相模線E131系ホーム検知装置不具合についての原因と対策を示すこと。

大会での発言をもとに経営のチェック機能をしっかりと果たしていきます!